

**カリキュラム研究開発
実践事例**

**因島南認定こども園
サムエル信愛こどもの園
千鶴幼稚園
御園宇幼稚園**

因島南 認定こども園

遊びの中の学びの連続性を大切にし

地域から保育室へ…保育室から地域へ…子供たちの
います。遊びを通して、子供たちの学びがつながり、
そのつながりを私たちは大切にしています。

～地域を園庭と考える保育から～

園内外の自然環境や、多様なコーナーでの遊
びを通し、子供たちが主体性を発揮して遊ぶ
ことができる環境構成について考える。



ウシガエルを
捕まえようと
奮闘中！

捕まえた！

ウシガエルと格闘した経験が
「次はこうしてみたい！」という
強い思いにつながっています。



いろんな道具や素材
を自分で選んで…



「もっとやりたい！」という思いが更なる主体性を発揮する姿として現れてい
ます。そこには、「使いたい！」と思った時に使いたい物が自由に使えるなど、
子供たちの主体性が発揮できるような環境が用意されています。

ています。

遊びはつながって
深まっていきます。

どんぐり見つけ
に夢中！



みつめる…さわる
あつめる…さがす



遊びの中で感じた「不思議だなあ」とか「もっとやっ
てみたい」という思いを大切に、気づきや意欲を
つなげる環境づくりを心がけています。



どんぐりと遊んでいます。



海の砂で遊ぶコーナーで試行錯誤中！



「遊び込む」ってどういうこと？

「面白い！もっとやりたい！」と思ったことをその子なりに遊び込む…。誰かにやらされるのではなく、自分でやってみる…。繰り返す、再現する、調べる、試行錯誤するなど、遊び込む姿は、その子によっていろいろです。子供たち一人一人の持ち味を生かして遊び込めるように、環境を構成していくことが私たち保育者の役割の一つだと思います。



様式の中に書き込み



作成した計画を踏まえて実践し、実際の子供の遊びや育ちを書き込みながら、カリキュラムを見直し、次の保育へつなげました。



2歳児～5歳児は、月案から期案に変えたことで、長期的に遊びや行事の流れの見通しを持つことができました。



カリキュラムの考え方をもとに、子供の育ちと保育の見える化を図るために「遊びの記録」を作成し、発信しています。

予想する遊びは、経験する内容を中心に記入し、子供が主体的に進めた遊びの発展は朱書きしました。そうすることで、保育者のねらいと子供の思いを書き込んだ記録とすることができました。



4 Innoshima Point 記録



子供の学びの変容、保育者の変容の記録にもなっています。

子供の育ちをとらえながら、具体的な環境づくり、保育教諭の関わり、遊びの再構築について話し合い、翌週の週案につなげています。



サムエル信愛 こどもの園

豊かな人間関係を育む力を培う保育



～異年齢保育の関わりを通して～

異年齢保育を中心とした保育について、「人との関わり」を視点にカリキュラムを見直し、継承していく点や改善点を明らかにする。



よ～く見て、よ～く聞いて、よ～く触って…関わりが始まる

サムエルの子供たち

「人とかかわる力」を通して、
の子供たちの育ちがたくさん



楽しさを
共有して
関わる



遊びを通して
多様な関わり
をする



物を介して
関わりに気付く



保育を見つめ直すとサムエル
見えてきました。

一人で
夢中になる



楽しさを
共有して
関わる



遊びを通して
多様な関わり
をする



公開保育で

- ・保育の視点の明確化と
- ・結果よりも過程を丁寧等に気付き、次の実践へしました。

園内研修で学ぶ

～リーダー企画・講師を招いて～
対話型のグループワークで、一日の保育の中の疑問や気付きを伝え合ったり、講師を囲んで協議を深めたりしました。

サムエルの学び

子供にとって遊びって何？
遊びの中で何が育つの？
私たちは何を援助するのだろうか？
人との関わりを育む援助とは？

様々な疑問についていろんな方法で学びを深めました。



子供を探る

～エピソード記録を通した学び合い～

なぜ、エピソードをとるのか…
意味を共有できるようになりました。

◆学んで気付いたこと◆

結果重視よりも
過程を丁寧に捉え、
大切にされた方が
いいんじゃないかな？

気付き

異年齢の関わりの中
で、個の力が発揮さ
れているよね…

どんな5つの
力が育って
いるかな。

【エピソード記録】



A君はそう
考えたんだね…

- ◆できるようになることが大切ではなく、子供自身の思いや発想に心を寄せ支える援助をしよう。
- ◆子供の発想を受け止め広げる保育、子供主体の遊びを育む保育とは何かを考えることが大切だと気付きました。

学ぶ

振り返りの大切さに
捉え、大切にすること
つなげることを心掛け



異年齢保育の中
でも、一人一人の発達
を意識する方がい
んじゃないかな？

気付き

異年齢で一緒に過ごしている中でも、各年齢のそれぞれのねらいを明確にし、一人一人の育ちを丁寧につなげることを目指して、期案の様式を変えました。

変容

三・四・五歳をひりまやめじり
同じねらいで捉えていましたが...

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな秋の恵みを感じ、自然物に触れる中で、五感を活かし、多への季節を感じる。 友だちとアイデアを出し合い、イメージを共有し、楽しみながら遊び、いろいろな遊びの楽しさを感じ、思いやりを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 感謝パーティー 7日 お楽しみ会 8日 芋ほり 10日 避難訓練 11日 秋のあいこコンサート 13日 防災センター 30日 アドベントI礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> 講師のしや 感染症の 体調につ 子どもの成 育ちにつ 家庭との 連携
茶話	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの活動 丁寧に手洗いをし、自ら感染予防をする。 食後、戸外後のうがい、歯の磨き、適切なうがいをしようとする。 寒さ、温かさを感じ、衣服の調節、衣服の乱れに気づき、整えようとする。 保育者がそばにいて、安心して自分の気持ちを伝えたり、友だちの気持ちを聞くことができる。 		
教育	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に食事を食べることを意識する。 正しい姿勢で椅子に座り、食事をする。 鼻水がでたら、自分でちゅむ。 身近な生活や行動に、見通しをもって、準備、けをしようとする。 全身を使って様々なことに挑戦したり、できるを感じること、自信や達成感に繋がる。 気の合う友だちと遊ぶ。考えがまとまらず、遊ばないこともあるが自分たちで解決しようとする。 友だちと一つの遊びを作り上げる楽しさを経験し、自分の思いを譲ったり、折り合いがつけようになる。 秋の収穫を喜び、神様に感謝する。 秋の自然物を拾い集め、遊んだり製作することを楽しむ。 友だちの意見に興味をもって聞き、共通の話題について話し合う。 絵本や童話、詩などの内容に興味を持ち、見たり 		

3歳児	<ul style="list-style-type: none"> 【いつしよと、うけしよ】 自分の名前、年齢、性別が分かるようになる。 自分の友達の顔色に気づき、仲良く関わり、遊ぶことができるようになる。 言葉のやり取りがスムーズになり、自分の気持ちを伝えることができるようになる。 友だちの気持ちを察し、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> 【いつしよと、うけしよ】 自分の名前、年齢、性別が分かるようになる。 自分の友達の顔色に気づき、仲良く関わり、遊ぶことができるようになる。 言葉のやり取りがスムーズになり、自分の気持ちを伝えることができるようになる。 友だちの気持ちを察し、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 【いつしよと、うけしよ】 自分の名前、年齢、性別が分かるようになる。 自分の友達の顔色に気づき、仲良く関わり、遊ぶことができるようになる。 言葉のやり取りがスムーズになり、自分の気持ちを伝えることができるようになる。 友だちの気持ちを察し、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。 友だちの思いが通じ、一緒に遊ぶことができるようになる。